

潜入!! 工事現場

途ちゅアフター

第5回 >>> 災害用マンホールトイレ

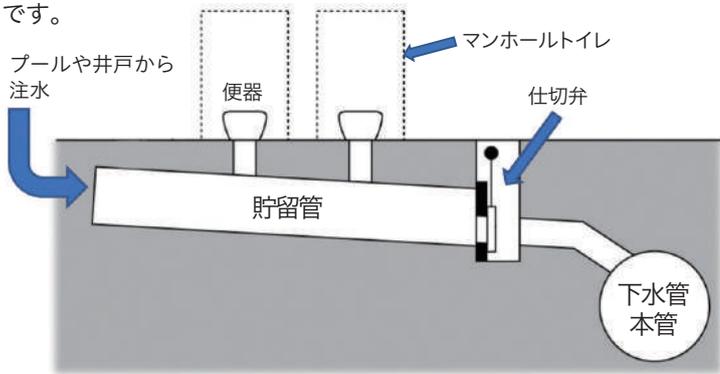


トチュー調査員

少し夏バテ気味ですが、好奇心が止まらないトチューです！
今回は災害時の避難所に設置するマンホールトイレについて聞いてみたよ。「災害用トイレ」って普通のものとは何が違うんだろう？

マンホールトイレとは、地中にある貯留管や下水管に直接つながるトイレのことです。もし災害直後に水が出なくなっても、72時間分は貯留管に便や尿をためておけるものです。下水管が使えることを確認できたら、プールの水や井戸水を使って下水管本管へ流す仕組みになっています。従来の簡易トイレより臭いも抑えられ、清潔な状態が保てるんだそうです。

市では、災害時に避難所となる市内の小学校において、災害用のマンホールトイレの設置工事を進めています。令和元年より順次行っていて、20校で工事が完了しました。現在は柏三小と柏六小で施工中です。



トチュー 調査員の もっと 知りたい!

Q1 トイレは普段どうなってるの？

A 普段はマンホールでふたをしている平らな地面で、便器や仕切り板などの必要な備品は倉庫に保管されています。いざ災害時になると、これらの備品を取り付けてマンホールトイレへと変身します

Q2 水が出ないということは、便器で用を足した後は流せない？

A 各小学校で防災用としている水を便器脇のタンクに入れて、ポンプを押して流すことができます



工事は、便器設置部分から下水管への接続部分までを整備するものです。初めに、地中に水道管やスプリンクラーなどが埋まっていないかを確認するための試掘(しくつ)を行います。問題なければ深さ1.5メートル程度の穴を掘り、管の設置を進めていきます。およそ4~6カ月で工事が完了します。



こんな感じになるんだね



使用時はパネル式の建屋でプライベート空間が確保できる構造で、便器は、十分なスペースと立ち座りをサポートする手すりが取り付けられています。高齢のかたや体が不自由なかたなど誰でも利用しやすいように設計されたタイプで安心です。

柏市では避難所での一時的な生活を乗り切るために、自然災害に強いまちづくりを進めているんですね！ご協力いただいた下水道工務課のみなさんありがとうございました！